

2019年9月5日

各位

京福電気鉄道株式会社

旅客運賃の改定について（叡山ケーブル・ロープウェイ）

京福電気鉄道株式会社では消費税率改定に伴う鉄道事業（叡山鋼索線）の旅客運賃の変更について、この度近畿運輸局長より認可されましたので、下記のとおりお知らせ致します。

また、索道事業（叡山ロープウェイ）の旅客運賃の変更について、近畿運輸局長あて届出を行いましたので、その内容についても合わせてお知らせ致します。

記

1. 改定内容

【鋼索線】

- ・普通旅客運賃

| | | 現 行 | 改 定 |
|----|----|--------|--------|
| 大人 | 片道 | 540円 | 550円 |
| | 往復 | 1,080円 | 1,100円 |
| 小児 | 片道 | 270円 | 270円 |
| | 往復 | 540円 | 540円 |

【架空索道】

- ・普通旅客運賃

| | | 現 行 | 改 定 |
|----|----|------|------|
| 大人 | 片道 | 310円 | 350円 |
| | 往復 | 620円 | 700円 |
| 小児 | 片道 | 160円 | 180円 |
| | 往復 | 320円 | 360円 |

2. 改定日

2019年10月1日（火）

3. 改定理由と収支見込み

【鋼索線】

消費税率改定分（改定率平均1.810%）を改定致します。

【架空索道】

当社叡山架空索道線は、京都市内から比叡山頂への観光アクセスルートとしての役割を担っておりますが、過年度に実施した老朽化設備の更新によるコストの増加や、年々増加傾向にある自然災害への対応、更には近年の最低賃金の上昇による人件費増加の影響を受け、事業収支は赤字が続く状況となっております。

今後も滑車類の更新等が必要な時期を迎え、更には増加する外国人観光客に対応するためのハード整備も必要となっております。

加えて本年10月より消費税率の引き上げが実施されることにより、現状の運賃では今後の投資が困難な状況になることが見込まれます。今回鋼索線の運賃改定と同時に実施することで、機器の改修費用、運賃改定に係わる費用を縮小する効果も見込めます。

以上より、京都市内から比叡山頂へのアクセスルートを安全に維持し、確保する観点から、収支改善を図るため運賃変更の届出を行うことと致しました。

●収支実績および収支見込み【架空索道】

（単位：百万円）

| | 現 行 (A) | 改 定 (B) | 増 減 (C = B - A) |
|----|------------|------------|--------------------|
| 収入 | 4 2 | 4 7 | + 5 |
| 費用 | 4 7 | 4 7 | ± 0 |
| 収支 | ▲ 5 | ± 0 | + 5 |

4. その他

現在発売中の鋼索・架空索道線ご利用可能な企画乗車券類につきましては、今年度版については現行価格とし、次年度発売分より改定を行う予定です。

以 上